

○ 旭小学校

- ・ 職員自己評価、保護者、児童アンケート結果について
- ・ 学校運営協議会委員より

学 校 評 価

—結果分析と改善に向けて—



令和 2 年 3 月

美幌町立旭小学校



I 職員自己評価・保護者・児童アンケート結果について

II 学校運営協議会委員より

令和元年度 学校評価結果について

学校評価アンケート結果についてお知らせします。好意的、建設的なコメントを数多く頂きました。有り難く思います。今後も、子どもたちの成長を願い、よりよい教育に努めていきます。家庭、地域の皆様とワンチームで共育を…どうぞよろしくお願いいたします。

☆グラフの見方① 評価の高い項目は ■、低い項目は ■ で表しています

☆グラフの見方② 数値は、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点とみて算出した平均値です

職員の評価結果

※職員の結果は、評価の項目をH30年に変えたため、2年分を掲載します

領 域		評価項目	R1 後期	R1 前期	H30 後期	H30 前期
目指す子どもの姿	1	子どもたちは、気持ちの良い挨拶をし、きまりを守って生活しようと努めている。	3.35	3.25	3.22	3.19
	2	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が図られている。	3.24	3.20	3.06	2.88
	3	「できる授業」 分かる授業により、基礎基本の力や表現力が育っている。	3.12	3.11	3.06	2.81
	4	子どもたちは、本に関心を持ち、読書活動に取り組んでいる。	2.88	3.00	3.06	2.81
	5	宿題や家庭学習を継続し、復習や予習などに取り組んでいる。	2.82	3.05	3.11	3.00
	6	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	3.29	3.20	3.22	3.25
	7	子どもたちは、一人一人を認め合うことにより、自己有用感を実感してきている。	3.18	3.05	3.06	3.00
教育活動等	8	各学年、教科においてバランスの良い授業時数を確保し、適切に指導している。	3.35	3.47	3.56	3.75
	9	よりよい人間関係を築こうとする態度を育むため、学級活動や学校行事等の充実を図っている。	3.47	3.32	3.50	3.56
学校組織	10	職能の向上のため、研修に努めている。	3.59	3.35	3.50	3.44
	11	各担当が連携を取り、効率的に学校運営を進めている。	3.47	3.35	3.44	3.63
教育環境	12	児童が集中して学び、落ち着いて生活できる教室環境や校内環境が整備されている。	3.35	3.40	3.11	3.13
開かれた学校	13	町内小中各校、高校、保護者、教育機関等との交流 協力 連携を心がけている。	3.41	3.25	3.33	3.38

○落ち着いた姿勢で生活し、日頃の学習態度も落ち着いています。よりよい授業づくりのための職員研修も、限られた時間を効果的に使い、進めることができました。

●読書活動や宿題、家庭学習への取組について、改善の余地があります。

保護者の評価結果

NO	評価項目	R1		H30		H29	H28
		後期	前期	後期	前期		
1	家庭学習の習慣が身に付いている。	3.03	2.97	3.21	3.17	2.46	
2	読書に親しむ習慣が身に付いている。	2.51	2.33	2.52	2.46	3.11	
3	学校の授業は「分かりやすい」と言っている。	3.26	3.14	3.11	3.12	3.13	2.94
4	思いやりをもって生活している。	3.24	3.14	3.14	3.20	3.21	3.06
5	学校生活を楽しんでいる。	3.62	3.56	3.59	3.61	3.49	3.44
6	家庭では進んでお手伝いをしている。	2.82	2.74	2.92	2.82	2.96	2.97
7	健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	3.26	3.34	3.18	3.28	3.24	
8	挨拶など、基本的な生活習慣が身に付いている。	3.16	3.20	3.14	3.23	3.11	3.03
9	PTA活動などにおいて、家庭と学校の協力関係が築かれている。	3.19	3.21	3.22	3.23	3.08	3.03
10	運動会や学芸会をはじめとする各学校行事は、充実している。	3.58	3.49	3.52	3.54	3.29	3.20

○「分かりやすい授業」づくりが進んでいます。
○学校生活を楽しんでいます。
●読書やお手伝いの習慣は今一つ…と評価する保護者が多かったです。教職員と同様の見立てです。

子どもたちの評価結果

NO	内 容	R1後期	R1前期	H30後期	H30前期	H29	H28	○読書に興味をも つ子が、後期で 大きく増えまし た。希望の光で す。学校生活が 楽しいという声 も多いです。 ●授業や家庭学習 の頑張りが今一 つ…と回答する 子がいました。
1	家庭学習をがんばっている。	3.44	3.12	3.42	3.39			
2	本を読むことが楽しい。	3.74	3.38	3.44	3.51	3.41	3.37	
3	学校の授業はわかりやすい。	3.44	3.38	3.47	3.44	3.40	3.41	
4	友だちを大切に、なかよくしている。	3.74	3.74	3.70	3.72	3.58	3.58	
5	学校での生活は楽しい。	3.71	3.55	3.61	3.64	3.67	3.68	
6	学級の当番や係活動、掃除をすすんでやっている。	3.70	3.55	3.57	3.56	3.50	3.58	
7	運動や遊びが好きだ。	3.70	3.73	3.74	3.76	3.62	3.54	
8	先生や友だちに元気にあいさつしている。	3.50	3.47	3.43	3.48	3.37	3.40	
9	学習のきまりをまもって勉強している。	3.50	3.42	3.50	3.43	3.48	3.32	
10	学校の先生は話しやすい。	3.58	3.56	3.55	3.63			



来年度に向けて



旭小学校の教育活動の方向性について、以下にお伝えします。

旭小教育目標①＜進んで学習する子ども＞にかかわって

○来年度も、子どもたちが「できる・分かる」学習を重ねられるよう、学習ルールの指導、黒板やノートの使用法、教室環境整備、映像を活用した授業づくりなどを進めます。

○4月から新たに始まる学習（外国語学習、プログラミング学習）、4月から変わる学習（教科書も変わります。国語は、学ぶお話が大きく変わります）の指導をスムーズに進めるため、準備していきます。

○今年度は、読み聞かせ会を増やすこと、児童が興味をもつ新刊図書を増やすこと、多くの本を読む活動を国語で取り入れること等に取り組みました。「読書が好き」という子どもの声を大切に、今後も指導していきます。ご家庭でも本に触れる機会をつくってあげてください。

○子どもに残すべき遺産の一つは、良き習慣…学び続ける習慣もそうです。家庭学習に、その習慣形成を期待しているところですが、この点についてお悩みのご家庭もあると思います。学級担任をはじめ学校と連携して、習慣作りを進めていきましょう。



旭小教育目標②＜思いやりのある子ども＞にかかわって

○学習場面でも、子どもたちが考えを伝えあう機会を大切にしています。教える場面、助け合う場面も多く見られました。仲間を大切に思う気持ち、自己有用感も評価結果や学校生活の様子から概ね良好と言えます。

○保護者アンケートで、「子どもの成長」「学級担任や学校に対する感謝の声」



をたくさん頂きました。学校と家庭が良い関係でいられること…子どもたち

に大きなプラスです。子どもに「人と仲良く」と教えるのが大人。私たち自身も、お互いに尊重しあい、助け合う関係を大切に、お子さんの育ちを一緒に支えていきましょう。

旭小教育目標③＜進んではたらく子ども＞にかかわって

○委員会活動や係活動、掃除などに進んで取組んでいます。子どもたちも自分自身をそのように評価しています。

○家庭での過ごし方、学校での過ごし方が両方よくなりました…という声が保護者から届いています。子どもは、可能性のかたまりです。生活力のある人に育ってほしいですね。机上の学習とは違う学びもまた、学校・家庭・地域で見守り育てていきましょう。



旭小教育目標④＜自ら体をきたえる子ども＞にかかわって

○体育の指導時間には限りがあり、学校で運動時間を伸ばすことが難しい状況です。そんな中、美幌スケート協会の協力を得て、放課後を活用して、旭スケート教室を開催できました。「スケートが楽しみ」という子どもの声、「やってくれてよかった」という保護者の声が届いています。美幌には、スポーツ少年団が19もあり、熱心な指導者に恵まれています。この町の良さだと思います。

○子どもたちの体力テスト結果と運動習慣に関するアンケートデータを用いて、分析をしました。以下のような結果が出ています。

- ・運動時間が多い子には、運動が好きな子が多い。好きだから、運動に前向きに…結果、体力もついてくる
- ・運動時間の長い子には、「自分によいところがある」と答える子、自己肯定感の高い児童が多い
- ・スポーツ少年団に加入している子は、全国児童の平均値を越える体力が備わっている

世の中、健康ブーム…皆さんもご承知の通り、運動することには、たくさんのメリットがあります。旭小が、冬季の体育で、スキーとスケートの2種目を実施するのも、子どもたちの未来を考えてのことと、ご理解ください。

また、1週間に何時間運動するのが健康面で好ましいか、という点についても分析しました。

目安として、1週間に7時間以上（単純平均で1日60分）の運動が、体づくりに効果的です。

○運動以外にも、体を動かす機会をつくれます。例えば…サイクリング、散歩、釣り、ハイキング、徒歩や自転車による買い物、家の前でのバドミントン、キャッチボール、家の掃除など。1週間の運動時間も参考に、家庭での過ごし方を考えてみて下さい。



II 学校運営協議会委員より

- 重点教育目標に沿って、教育活動を推進してもらいたい。そのためには、大人自らが範を示していく必要がある。特に、今の親世代。相互扶助が社会通念だった昔と違い、個人志向の時代。ベクトルが様々な方向を向く中、それらをいかに巻き込み、教育を進めていくか。大人も子どもと一緒に成長していこう、というムーブメントを学校が主となって創りだしていくことが求められる。
- 学校に求められる役割が増えている中、難しい舵取りが予想される。教育活動推進の重点を更に絞り込み、一点突破を狙うぐらいがよいと思う。数年かけ、徐々に掲げた理想に近づけるよう、取組を進めてほしい。我々、運営協議会のメンバーもサポートをしていきたい。
- 学力向上に組織的に取り組んでいる様子が、教育活動の取組及びその成果からよく分かる。また、一地域人として暮らしていて、朝登校する子どもたちと挨拶を交わすといったちょっとした関わりを大切にしていくことが、つながりを生んでいくと感じる。いじめなどの問題も人と人の絆の希薄さに起因するところがある。地域の者としてできることを考え、サポートしていきたい。